



最優秀賞の中島ライスクラブ「これからも頑張るぞ！」

優秀農家

豊かな農業を担う

確かな技術と優れた経営能力で地域農業のリーダーシップを発揮している優秀農家のみなさん。今年も次のかたがたが受賞されました。

最優秀賞 自立専業経営体部門 中島ライスクラブ(豊岩地区)

農作業受託集団。ミニライスセンターの導入、大区画ほ場に合った大型農業機械の効率的利用により、機械化一貫体系による低コスト稲作を実践。米のほか、ソバや大豆の栽培、加工なども行っています。



優秀賞 農業個人部門(男性農業者の部) 菊地公明さん(金足下刈字館越)

水稲と大豆の複合経営。水稲では、土壌改良剤の投入、病害虫の適期防除などにより高品質米の安定生産を実現。また、土地改良区理事を務めるなど地域農業の若きリーダーとして活躍しています。



優秀賞 農業個人部門(女性農業者の部) 三浦君子さん(四ツ小屋小阿地字坂ノ下)

水稲と野菜の複合経営。特に野菜の生産と販売にこだわりを持ち、品質安定や販路の確保と拡大にも積極的に取り組み、地域農業の活性化に貢献しています。



優秀賞 地域活性化部門 四ツ小屋スカイサービス(四ツ小屋地区)

農作業受託集団。無人ヘリコプターでの作業により、以前は重労働であった防除作業を改善しました。

児童図画部門

最優秀賞 = 敬称略 =
佐藤芽衣(築山小4年)

優秀賞
佐藤侑美(秋大附属小1年)
石塚香椰(秋大附属小1年)
渡辺樹生(上新城小2年)
河崎聡美(大住小5年)
浅野沙也加(大住小5年)



佐藤芽衣さんの作品

今井真貴(上新城小2年)
伊藤莉奈(上新城小2年)
古谷悠香(大住小5年)
菅原加奈(大住小5年)

市政 トピックス

今日も仲良く「二人でクック」 家事は一緒に楽しい!



2人でつくればおいしさも2倍!

十一月十九日、男女共生政策室主催の出張講座「二人でクック」が、女性学習センターで開かれました。男性も料理に参加してもらいたい、女の分野と男の分野に分けられがちな、普段の生活や価値観を見直すきっかけになれば...と開いたもので、男女ペア八組のみなさんが参加。二人仲良く共同作業で「ピリ辛焼うどん」と「セリの和え物」を作りました。

「家事や炊事は一人ですると楽しいもの。評価しあうことで喜びも生まれます。まずは行動を!」と、講師の門間幸子さん。

みなさんも、料理だけでなく生活の中のいろいろな場面で、今日から「二人でクック」してみませんか。

高等教育の 将来を考えました 地域の大学 を大切に育 てたい...



高等教育の将来像について意見が交わされました

十二月一日、県と市の共催で「地域における高等教育に関する公開シンポジウム」が、市内のホテルで開かれました。

早稲田大学教授の吉村作治さん、作曲家の三枝成彰さん、作家の林真理子さんら各界著名人からなる「エンジン(ゼロワン)01文化戦略会議」のメンバー八人と県内三大学の学長がパネリストとなつて、「秋田県の高専教育の現状と未来」「地域と大学」をテーマに、それぞれ独自の視点から持論を展開。

約三百人の聴講者が耳を傾け、地域の「知的財産」である大学がこれからどうあるべきかについて考えました。

秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の内容などをお伝えしています。
<http://www.city.akita.akita.jp/>



市長 佐竹敬久

市長のほっとコラム

2002年を振り返って

今年も足早に過ぎようとしていますが、今回はこの一年の出来事を振り返ってみることにします。

まず四月には、高度なりサイクル能力や高出力の自家発電など優れた機能を持つ溶融式の新しいゴミ処理施設の運転が開始されました。

しかし、運転開始間もなく初步的なミスでPHセンサーが働かなくなり、一時環境基準を越えて排水されたことは残念なことで、地域や市民の皆様にも申し訳ないことをしました。

初期流動性と言いますが、新しいシステムの動き始めの時期には、特に細心の注意を払わなければならぬという、工学上の定理を改めて認識させられた出来事でした。

六月には、大森山動物園のキリン「たいよう君」が亡くなりました。片足を失っても、奇跡的な生命力でギブスを装着しながら生き抜いてきました。力尽きてしまいました。

臨終の知らせで、私も動物園に駆けつけましたが、まだ温かく穏やかな目で永久の眠りについた「たいよう君」の亡骸に触れ、目頭を熱くした悲しい出来事でした。

た悲しい出来事でした。



韓国の夜空に初めての竿燈! ソウルっ子と佐竹市長

八月には、友好提携調印二十周年を記念して、関係する市民の皆様とともに交流書画展や貿易展の開催に合わせ中国蘭州市を訪問しました。

経済自由化路線の中、猛烈なスピードで進む近代化と、新しいものを吸収しようとする国民のエネルギーに認識を新たにするとともに、秋田市の医療技術や水道技術指導などが大きな実を結び、蘭州市民から大変

に感謝されていることを目の当たりにできた意義ある旅となりました。

また、十月には韓国との定期航空路開設一周年にあたり、韓国からの観光客誘致や経済交流の活発化などをはかる目的で、竿燈会や秋田商工会議所青年部の皆様とともにソウル市を訪問してまいりました。

両国とも、訪問の際に特に強く感じたことは、様々な競争の激化を前提とした経済人の「したたかさ」と「たくましさ」でしたが、それについても我が国においても、否応なしに進むグローバル化や構造変化の中では、頼るべきは自らであるという自助自立の精神と闘争心を取り戻さなければと思つた次第です。

いずれ、新しい年も激動の年になるに違いありませんが、立場や枝葉末節にとらわれずに、物事の本質を見極めながら現状打破に向かって積極的にチャレンジすることが必要ではないかと思つています。

月並みですが、市民の皆様それぞれに、明ける2003年は良い年でありますようにお祈りいたします。